

愛犬のお陰で出会った仲間達

藤井 雅美

私は動物好きの両親の元で育ち、子供の頃は犬三匹、うさぎ十数羽、うずら二羽を飼っていました。その為、犬は家族のような存在でした。短大卒業後、父の勤める大手メーカーで働き、24歳で社内恋愛で結婚をしました。そして、実家の犬と離れて暮らすうちに、犬の飼えない狭い新居での生活で体調を崩し、実家の父が見かねて、この品川区の新築マンションの購入をすすめて援助してくれました。

やっとここで犬と暮らせる、と喜び、主人の海外赴任中に待ちきれずに念願の小型犬を飼いました。それは偶然入ったペットショップでの運命的な出会いでした。後にそれが、私の守り神であり、様々な困難を乗り越える為の心のささえになる事は、その時はまだ、気づいていませんでした。

結婚当初から、性格の不一致で、ケンカが絶えなかった私たちは、夫が海外赴任に行く事で、どうにか生活を維持していました。夫は、自分の生きがいの為に海外赴任の仕事を渡り歩いていました。私はその間、幼い息子と母子家庭の予行練習をしていたようなもので、私も人並みに仲の良い家族を作りたいと願ってました。息子が幼稚園を卒業する頃に飼った犬は、夫婦の愛がなく、二人めの子供をあきらめた私の、娘代わりで、息子にとっては妹でした。主人は二年ぶりに

帰国する直前に飼った犬は、主人には全くなつかず、目のかたきに吠えていました。でも、これからは家族4人(?)で、気分一心、幸せな家庭を作るはずでした。しかし、夫は赴任中にいた原地の女の所へ、帰国後数日で、突然失跡してしまったのです。朝、いつも通り、会社へ行く支度をして、スーツで小さな通勤かばんを一つ持ち、その中にパスポートと百万近いドルだけを入れて。それは、私と息子の誕生日の一週間前の出来事でした。かわいそうに、息子は、7才の誕生日を祝ってももらえずに父親とは、それっきり音信不通となってしまいました。

私は突然の事に毎日眠れず、自分を責め、パニックになりました。専業主婦の私は、明日から、私の父と夫名義の買ったばかりの新築マンションのローンと、生活費をどうしたら良いものかと不安で一杯でした。それにも増して、一番の心配は、一人息子を私が一人で育てていけるのだから。そして、まだ7才にして父親に捨てられた息子が不憫でなりません。父は、私と息子より、何よりもパスポートが大事だったようです。

そんな失意のどん底の私達の心のささえは我が家に来たばかりの一匹の犬でした。私は初めて派遣として働き、その後生命保険と職を転々としながら、がむしゃらに働きました。私が慣れない仕事から疲れて帰っても、やさしく出向えてくれた小さな命は、どんなに心のささえになったかわかりません。

私と息子は夕食後に毎晩犬の散歩に近くの公園に行き、そこで犬の散歩仲間にあうのを何より楽しみにしていました。夜、何時間も話をしたり、星を一緒にながめたり、時には犬の誕生会を

祝ったりと、犬のお陰で、淋しい私達にも友達ができて、地域の犬仲間の皆さんが親切にしてくださいました。犬がいなければ、全く接点のない、裕福な、幸せな家族のいる方々でした。息子の成長も皆さんが気にかけてくださり、仕事で忙しい私に代って、スキーや、ドイツニーランドなどに連れて行っていただいたり、バレンタインの日は、息子にチョコをくださったりと、本当の家族のようでした。いえ、本当の家族(父親)以上の愛情を犬の散歩仲間には与えてくれました。皆様に見守っていただいたお陰で、息子はまっすぐに育ち、本当に感謝しています。

私は、買ったばかりの家を手放し、犬を飼える所を近所で探しました。やっと見つけたアパルトは、日当りの悪くて狭くて、家賃の高い古くて汚い所でした。犬の散歩仲間達はそんな境遇の私達にも変わらずに暖かく接してくれました。犬がいなければ、そんな方達と出会う事もなく、立ち直る事もできずにいたかもしれません。私は、その後、両親の援助も一切受けず、私の大事な息子とかわいい犬を、せめて日当たりの良い部屋で私の帰りを待っていてほしいとの一心で、頑張つてがむしやらに、休日もなく働きました。そして、やっと、念願の、広いマンションに引越す事ができたのです。苦節7年かかりました。

その間、犬は働く私の身代りかのように婦人系の病気をいくつもくり返し、生きるか死ぬかの大きな手術を三回も行い、私の願いが叶って生還してくれました。現在10歳です。

犬は家族の一員です。身勝手な夫よりも、誰よりも私と息子の心のささえになつて幸せを運んで来てくれます。そして、犬を通して初対面の方とも散歩中に笑顔で挨拶ができる事は、すばら

しい事だと思えます。今も犬を通して幅広い年代の方とお知り合いになれて毎朝の散歩が楽しみです。

家族の絆とは、人間の間だけに止まらず動物を通して私達に教えてくれるものだと感じました。もうすぐ犬は11歳になりますが、これからも、命の大切さを感じながら、私が命ある限り、大切に犬に恩返しをしたいと思えます。

そして今後は、私が地域の皆様のお役に立てるようになりたいと思っています。